

赤ちゃんから入場できるコンサート

いさのおんがくたい

2015 出演者募集案内



いさのおんがくたい 2014 「ミニ・コンサート」より

いさのおんがくたい 2015 出演者募集！

いさのおんがくたい実行委員会では、2015年度の「いさのおんがくたい」の音楽イベント(ミニ・コンサート、ワークショップ等)に出演してくださる演奏者を募集しています。

主催・企画制作 いさのおんがくたい2015実行委員会

共催 伊佐市教育委員会

コンセプト

「いさのおんがくたい」とは？

事業コンセプト

「赤ちゃんから入場できるコンサート」

この企画は、「赤ちゃんから入場できるコンサート」として、若手演奏者たちが、企画・構成・出演することをコンセプトにしています。

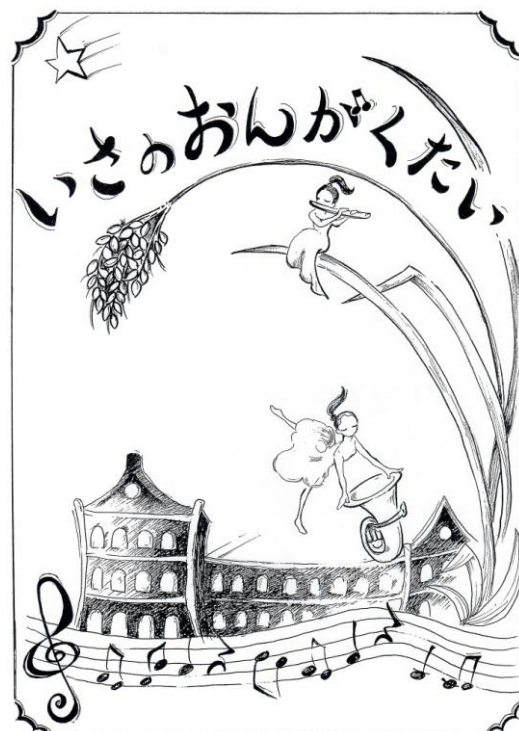
また日ごろ、育児などでクラシックコンサートなどに出かけることがなかなかできない若いお父さんや、お母さん、赤ちゃんからお年寄りまで、身近にあるホールで、気軽に音楽を聴く機会を提供することを目的としています。また、『演奏をとおして、楽器の持つ「生の音」のよさを体感(冒険)してもらえるように』と、若手の演奏者たちが中心になって立ち上げました。

一般にコンサートという大きな空間(ホール)で、いろいろな照明や音響があつてという大々的なものを想像されると思います。この企画は、照明も音響も最低限で、空間も200人くらいが入る小ホールが会場です。基本は楽器のもつ生の音とホールのもつ響きですから、演奏者を身近に感じることができます。

それぞれのコンサートでは、演奏者の個性と発想を最大限に生かし、曲目やプログラムも、演奏者が演奏したい曲を中心に、演奏者自身が構成します。また、楽器体験等の聴衆参加のコーナーを取り入れたり、聴衆とやりとりを取り入れたり、既成の形式・概念にとらわれず、自由にプログラムを組み立てることができるのも特長です。

また、この一連の事業を通して、聴衆であるお客様には、身近にあるホールで、「目の前で演奏される生の音を聴き、身近な場所で感動を享受する楽しさ」を、味わっていただきたいと考えています。

演奏者(出演者)も、聴衆も、一緒になって気軽に楽しめるコンサートを目指します。



毎回、このイラストの表紙でプログラムを作成しています。



●「いさのおんがくたい」の概要

1 事業名 「いさのおんがくたい」

2 主催 いさのおんがくたい実行委員会

・【実行委員会のコンセプト】

実行委員会は、地元に住居又は活動している若手演奏者たちを中心に構成する。

伊佐市文化会館を拠点として、演奏者を広く一般から募集し、「演奏を楽しみ、音楽に親しむ」機会を創出する。

・【主な活動内容】

○「いさのおんがくたい」事業の企画・運営

○ミニ・コンサートへの出演・ワークショップの実施

(ミニコンサート:規模は会場も人数も小規模 ワークショップ:体験事業、出前演奏)

○自団体以外のミニ・コンサートや、ワークショップの運営支援 (相互支援)

3 共催 伊佐市教育委員会

「いさのおんがきたい 2015」 出演者募集要項

【出演資格】

- ① 出演者は、伊佐市及び鹿児島県内で、演奏活動に取り組む個人・団体とし、プロ・アマは問いません。
- ② 本事業の基本コンセプトは、「赤ちゃんから入場できるコンサート」(未就学児童入場可)です。
- ③ 公演日は、平成 27 年 6 月 1 日から平成 28 年 2 月 29 日の土日祝祭日とします。演奏者の希望をお伺いしてから、相互に調整して決定します。
- ④ 出演時間は、ミニ・コンサートはおおむね 1 時間以内、参加型ワークショップは 2 時間以内とします。
- ⑤ 演奏形態は、ソロでもアンサンブルでも構いませんが、高校生以下の演奏者のみを中心となる場合は、あらかじめご相談ください。
- ⑥ 楽器使用の場合は、アコースティックのみ、歌唱の場合は、生声とします。
- ⑦ 当日のプログラム案・会場設営案については、演奏者が直接ホールまたは会場を確認の上、構成してください。(プログラムの印刷及び必要な広報は、ホール及び実行委員会でも行います。会場設営で人手が必要な場合は、可能な範囲で、ホールと実行委員会がお手伝いします。)
- ⑧ 会場は、原則、伊佐市文化会館小ホールを使用します。他の会場を希望される場合は、打合せ時にご相談ください。
- ⑨ 使用する楽器等の機材は、グランドピアノを除き、持ち込みとします。搬入・搬出は出演者の責任で行なっていただきます。
- ⑩ 会館備付のピアノは以下の 2 台です。

種類	メーカー	番号	全長
グランドピアノ	ヤマハ	品番:CF 製番:3360200	260 cm
グランドピアノ	ヤマハ	GIII 1813246 E	167 cm
- ⑪ リハーサル・準備の詳細は、出演者・実行委員会で調整し、概ねコンサートの 1ヶ月前までに決定します。
- ⑫ 出演決定後は、リハーサル・本番まで、演奏者と実行委員会が、相互に打合をしながら、公演当日まで進めていきますので、ご相談ください。

【費用等】

- ① 出演謝金はありません。ミニコンサートの入場料は原則無料で行っていますが、特に入場料を設定されたい場合は、あらかじめご相談ください。
- ② 出演料は不要です。
- ③ 文化会館の公演及びリハーサル時の会場使用料、備品等使用料は免除されます。その他の経費(飲食等)は出演者の負担をお願いします。なお、練習に伴う施設使用料等は、免除対象とはなりませんので、ご注意ください。
- ④ 著作権許諾に関する手続きは実行委員会で行いますので、曲目プログラム等は公演の約 1ヶ月前までにお知らせください。

【申込方法】

- ① 別紙出演申込書を記入のうえ、期日までに、郵送、持参、電子メール又は FAX で、実行委員会事務局へ提出してください。

《提出先》いさのおんがきたい実行委員会 実行委員長 瀬崎宛 (または事務局宛て)

〒895-2701 伊佐市菱刈前目 2106 番地 伊佐市役所菱刈庁舎文化スポーツ課内

【連絡先】 電話番号 0995-23-1311(内 2322) FAX 番号 0995-26-1055

k-sport@city.isa.lg.jp

【募集に関するお問い合わせ】 実行委員長 瀬崎 宛て

電話番号 0995-23-1311(内 2132) メール fumifumi.1975@gmail.com

- 1 申込書到着後、要望等をお伺いします。出演の可否については別途連絡します。
- 2 出演申込書の第 1 回締切(平成 27 年 6 月から平成 28 年 2 月)は、平成 27 年 4 月 24 日(金)です。第 2 回目(平成 27 年 10 月から平成 28 年 2 月)の申込締切を、平成 27 年 8 月 28 日(金)とします。申込者が予定した回数に達した場合は、第 2 回目の募集をしない場合もあります。
- 3 不明な点は、上記連絡先へお問い合わせください。

「いさのおんがくたい」活動実績一覧表

平成 27 年 3 月現在

No.	日程	内容	演奏者(敬称略)	入場者数 (小学生以下)
1	H22. 4.17 (土)	ミニ・コンサート(チューバ)	本倉 敬之	39 人 (-)
2	H22. 5.22 (土)	ミニ・コンサート(合奏)	ヴォーカルアンサンブル「和」	74 人 (22 人)
3	H22. 6.19 (土)	ミニ・コンサート(声楽・オペラ)	Suono Amica(スオーノ・アミーカ)	63 人 (19 人)
4	H22. 7.17 (土)	ミニ・コンサート(合奏)	ウインド・ジャズ・オーケストラ	53 人 (11 人)
5	H22. 8. 7 (土)	ミニ・コンサート(器楽演奏、歌)	大口南中学校吹奏楽部ほか	96 人 (36 人)
6	H22. 8.22 (土)	体験ワークショップ(太鼓)	和太鼓衆 鼓動塾	16 人 (10 人)
7	H22. 9.25 (土)	ミニ・コンサート(歌とピアノ)	邊田 幸香	83 人 (17 人)
8	H22.10.16 (土)	ミニ・コンサート(トランペット) 青少年健全育成大会と同時開催	二反田 耕治	350 人 (-)
9	H22.10.23 (土)	出前コンサート in 羽月保育園	打楽衆バサラ(太鼓)	153 人 (95 人)
10	H22.11.27 (土)	ミニ・コンサート(ピアノの連弾)	エミュ	59 人 (34 人)
11	H22.12.18 (土)	クリスマス・コンサート	過去の出演団体ほか	222 人
12	H23. 1.27 (木) ~28 (金) H23.2.25 (金)	アウトリーチコンサート (市内小学校 5 校)	田村 緑	146 人
13	H23. 1.28 (金)	ホールワークショップ	田村 緑	21 人
14	H23. 2. 5 (土)	ミニ・コンサート(アカペラ)	湧井 英明	48 人 (21 人)
15	H23. 2.26 (土)	おんがくの種まきコンサート	田村 緑	242 人 高校生以下 142 人
16	H23. 3. 26 (土)	ミニ・コンサート(合奏)	寺岡 公美 ほか 2 名	43 人 (21 人)
17	H23.4.9 (土)	ミニコンサート(うたってあそぼ)	ナナムゼ (三角奈々枝)	19 人 (14 人)
18	H23.5.21 (土)	ミニコンサート(チューバ)	本倉敬之	25 人 (5 人)
19	H23.6.4 (土)	ミニコンサート(合奏)	くまきちアンサンブル	71 人 (24 人)
20	H23.7.30 (土)	アウトリーチコンサート in 大一会	スイートネスほか 9 名	150 人 (-)
21	H23.8.13 (土)	ミニコンサート(合奏)	ラ・プリュム・クラリネット・アンサンブル	59 人 (20 人)
22	H23.8.20 (土)	ミニコンサート(ピアノ)	邊田幸香	53 人 (11 人)
23	H23.9.3 (土)	ホール・コンサート(オーケストラ)	鹿児島大学管弦楽団	131 人 (-)
24	H23.9.23 (金)	ミニコンサート(フルート&ピアノ)	スイートネス&エミュ	43 人 (14 人)

No.	日程	内容	演奏者(敬称略)	入場者数 (小学生以下)
25	H23.10.29 (土)	アウトリーチコンサート in 大口小学校	打楽衆バサラ	120人 (75人)
26	H23.11.27 (日)	ミニコンサート(マリンバ)	マリンバデュオ・パレット	25人 (8人)
27	H24.2.5 (日)	いさのおんがくたいプレゼンツ おんがくの種まきコンサート	宝山室内アンサンブル	184人 (64人)
28	H24.3.4 (日)	ミニコンサート(吹奏楽)	大口高校 吹奏楽部	73人 (5人)
29	H24.5.19 (土)	アウトリーチコンサート in 田中保育園	打楽衆バサラ	100人 (70人)
30	H24.6.10 (日)	ミニコンサート(合奏)	くまきちアンサンブル	75人 (17人)
31	H24.9.9 (日)	ミニコンサート(ハーブ・クラリネット)	グラツィオーソ	52人 (24人)
32	H24.10.20 (土)	ミニコンサート(マリンバ)	マリンバデュオ・パレット	45人 (16人)
33	H24.11.23 (金)	ミニコンサート(ピアノ&フルート)	エミュ	40人 (21人)
34	H25.1.13 (日)	いさのおんがくたいプレゼンツ おんがくの種まきコンサート	アフリカングループ アフロ de MISHIMA	213人 (132人)
35	H25.2.24 (日)	ミニコンサート(フルート)	スイートネス	53人 (17人)
36	H25.3.16 (土)	ミニコンサート(リコーダーアンサンブル)	本倉敬之	96人 (43人)
37	H25.6.29 (土)	ミニ・コンサート(ピアノ)	エミュ	93人 (47人)
38	H25.7.28 (日)	ミニ・コンサート(フルート)	スイートネス	38人 (4人)
39	H25.8.10 (土)	ミニ・コンサート(マリンバ)	マリンバデュオ パレット	33人 (7人)
40	H25.9.28 (土)	ミニ・コンサート(吹奏楽)	大口吹奏楽団	55人 (7人)
41	H25.11.23 (土)	ミニ・コンサート(バイオリン・ハーブ・ビオラ)	バイオリン・ハーブデュオ Con te(コンテ)	33人 (5人)
42	H25.12.7 (土)	ミニ・コンサート(アンサンブル)	おんがくとどけ隊 (今村裕紀ほか)	43人 (7人)
43	H25.2.22 (土)	アウトリーチコンサート(和太鼓)	打楽衆バサラ	250人 (100人)
44	H25.3.8 (土)	ミニ・コンサート(ハーブとクラリネット)	Grazioso(グラツィオーソ)	35人 (6人)
45	H25.3.14 (金)	種まきコンサート アウトリーチ in 南永小(ハンドベル)	佐賀女子高等学校 ハンドベルリンガーズ	21人 (9人)
46	H25.3.14 (金)	種まきコンサート アウトリーチ in 湯之尾小(ハンドベル)	佐賀女子高等学校 ハンドベルリンガーズ	24人 (24人)
47	H25.3.15 (土)	種まきコンサート ホールワークショップ(ハンドベル)	佐賀女子高等学校 ハンドベルリンガーズ	11人 (8人)
48	H25.3.16 (日)	種まきコンサート ホールコンサート(ハンドベル)	佐賀女子高等学校 ハンドベルリンガーズ	183人 (60人)
49	H26.5.18 (日)	ミニ・コンサート(トランペット)	二反田 耕治	54人 (4人)
50	H26.6.21 (土)	ミニ・コンサート(ピアノ)	ピアノグループ「エミュ」	112人 (51人)
51	H26.7.5 (土)	ミニ・コンサート(歌、フルート)	檜サークル	86人 (21人)
52	H26.9.7 (日)	ホール・コンサート(オーケストラ)	鹿児島大学友会管弦楽団	81人 (23人)

No.	日程	内容	演奏者(敬称略)	入場者数 (小学生以下)
53	H26.10.25 (土)	ミニ・コンサート(吹奏楽)	大口吹奏楽団	64人 (5人)
54	H26.11.9 (日)	ミニ・コンサート(声楽)	鹿児島国際大学声楽専攻学生	36人 (3人)
55	H26.11.9 (日)	アウトリーチコンサート(吹奏楽ほか)	大口吹奏楽、エミュ、スイートネス	132人 (36人)
56	H26.12.6 (土)	ミニ・コンサート(マリンバ)	マリンバデュオ「パレット」	48人 (28人)
57~60	H27.3.13 (木) H27.3.14 (金)	種まきコンサートアウトリーチコンサート(ピアノ)	田村 緑(ピアニスト)	—

(アンケートから)

ご来場いただきましたお客様から寄せられたアンケートから一部をご紹介します。

- それぞれの音色をわかりやすく知る機会ができ、うれしく思います。趣向を凝らした内容で素敵でした。(70代男性#52)
- 3人のお姉さんへ 楽しそうに演奏してくださってありがとうございました。ぼくもおんがくの勉強をしっかりとがんばって、大人になって何かに役立てたいと思いました(10歳未満男性 #56)
- きれいな音色に癒されました。これからもいろいろな音楽と親しめる機会を作ってください。もっと宣伝して、たくさんの人に音楽の楽しさを伝えてほしいです。(40代女性 #60)
- ハンドベルの本格的な演奏を始めてみました。奥深くてビックリと感動でした。耳にしたことのある曲が流れると、2歳の娘も大喜びでした。(30代女性 #60)
- 田舎に住んでいると生を聴くことがなく、大変満足でした。また、聴きに来たいです。(70代女性)
- 心が洗われた瞬間でした。ありがとうございました。いさのおんがくたい自体すばらしい企画です。今後も続けてください(60代 男性#53)
- 忙しい中、伊佐市内で素晴らしい音楽会、若い方たちのボランティアで開催されていることに感動しました。(60代 男性 #51)
- 赤ちゃんと一緒だとなかなかコンサートに参加できませんが、楽しんで参加できました。あきない構成でよかったです。(30代女性 #54)

(演奏者から)

出演者からのコメントをご紹介します。

(マリンバデュオ 「パレット」 橋野清香 安田奈緒子)

「音楽が結んだ伊佐との出会い…」

私達が初めて伊佐で演奏させて頂いたのは2009年。様々なご縁があり2011年「いさのおんがくたい」に初参加しました。そこから、4年間続けて出演させて頂けてる事に正直とても驚いています。私達はよく「一緒に演奏できたら…」と語っていて、それが初めて実現したのが伊佐でした。伊佐から私達の演奏活動の旅は始まりました。私達にとって大切なスタートの地です。

演奏できる場があるということ、その演奏を聴いてくださる人がいるということは、私達にとってとても幸せなことです。一人でも多くの方にマリンバを通して音楽の楽しさや自由さが伝えられたら良いかと、今までもこれからも思っています。まだまだ未熟な私達ですが、皆さんとの「出会い」に感謝し、音楽を通して、いつもの日常に少しでも彩りを添えられたら幸いです。では、これからもパレットをよろしくお願いします。

(佐賀女子高等学校ハンドベルリンガーズ音楽監督：久米詔子)

小学校でのアウトリーチでは、二つの小学校で体験教室を行いました。子供達に指導することで、楽器の持つ魅力と伝えることの難しさをあらためて実感しました。初めてイングリッシュハンドベルを手にした子供達の輝いた瞳を、今でも忘れられません。ホールコンサートでは、地元のバレエ団との共演をしました。バレリーナの卵達が踊りと真摯に向き合う姿に刺激を受け、私達もさらに目標意識を高く持って演奏するようになれました。

自らの企画で、さまざまな取組ができる「いさのおんがくたい 2015」で視野を広げ、今後の活動に繋げてみてはいかがでしょうか？

おんがくたい 50 回目演奏会

伊佐で毎月クラシックの魅力発信♪



本番会場で連弾の練習に余念のない「エミュ」のメンバー
—伊佐市文化会館

赤ちゃんから入場できるコンサートを一。伊佐市の若手演奏家らが毎月1回、市民にクラシック音楽の魅力を伝える「いさのおんがくたい」コンサートが50回目を迎える。口蹄疫などの危機を乗り越え、伊佐に「音楽の種」をまき続けている。

コンサートは、実行委 うと2010年4月に始
員会(瀬崎広文委員長) まった。ほぼ毎月開くミ
が手弁当で企画、運営。二コンサート」は出演者
利用頻度の少ない同市文 を公募。年1回の「おん
化会館を有効活用し、演 がくの種まきコンサ
奏家には発表の場、市民 ト」では県内外からさま
に鑑賞の機会を提供しよ さまなジャンルの演奏家



コンサートの様子—2013年6月、伊佐市文化会館(伊佐市教委提供)

口蹄疫の危機乗り越え

節目となる21日は、市内のピアノ講師ら6人で行く「エミュ」が出演。中野卓代表(46)は「50回も続くなんてすごい。発表の機会を与えてもらい励みになる。当日はピアノによるハーモニーを楽しんで」。瀬崎委員長は「みんなに支えられて迎えた50回。今後も伊佐の音楽の種をまき続けたい」と話す。21日は午後2時開演。無料。同市文化会館0995(2)6320。(谷上英文)

を招き、演奏会や講習会を開いている。コンサート開始直後、宮崎県で口蹄疫が発生。イベントの中止が相次ぐ中、「せつかく始めた活動が萎縮してしまう。最大限配慮して演奏機会を確保しよう」と続けてきた。

ピアノの秘密 演奏家に学ぶ 伊佐・大口小



伊佐市の大口小学校で12、13日、学校などで音楽の魅力を紹介するピアノリストの田村緑さん(写真中央、東京都)が出前演奏会「おんがくの種まきコンサート」を開いた。4、5年生148人は演奏とともに、「ピアノの秘密」にも触れた。手作りコンサートで市民に音楽の魅力を発

信する「いさのおんがくたい」実行委員会の企画。児童はグランドピアノの構造を学んだほか、田村さんが演奏するピアノの下をくぐったり、取り囲んで寝そべったりして体全体で音の響きを感じた。ムソルグスキー「展覧会の絵」を聴きながら曲の題材となった絵を見比べたほか、ハンドベルや合唱で共演。5年の吉元愛織さん(11)は「ピアノの下をくぐった時の振動がすごかった」と喜んだ。6月には伊佐市で田村さんのコンサートがある。「子供たちは乗りがよかった。コンサートがクラシック音楽に興味を持つきっかけとなれば」と期待した。(谷上英文)